

地方独立行政法人神戸市民病院機構 平成23年度決算概要

資料 2-1

【平成23年度決算のトピックス】

◆ 損益については、旧中央市民病院の売却損や医療機器の除却損の臨時損失による影響が大きく▲61億円の当期純損失となった。通常の事業活動による利益を示す経常利益は、当初予算においては新病院への移転に向けた患者数の低減・立上計画に基づき患者数を調整することによる減収、引越・廃棄等の費用の増加など、▲19億円の予算を組んでいたが、移転後の8月以降病床利用率、診療単価も高く、全体として予算を28億円上回る9億円の黒字となった。

◆ 資金収支は、中央市民病院の新病院移転（平成23年7月）前後の診療機能低減、移転に伴う費用増加及び旧病院の売却収入等も見込んだ目標15億円に対して、中央市民病院では効率的な病床運用、特殊病床加算の取得、地域医療連携のさらなる推進等により、また、西市民病院においては、医師確保の進展による入院・外来患者数の増加や病床利用率の向上等により、両病院の医業収益が増加し、目標を上回る38億円となった。

損益

22年度 実績	23年度		前年度比	目標比
	目標	実績		
36億円	▲89億円	▲61億円	▲97億円	28億円

※ H23年度の損益の中には、旧中央市民病院等の除却損73億円が含まれる

(参考) 経常利益 (通常の事業活動による収支を表示)

22年度 実績	23年度		前年度比	目標比
	目標	実績		
33億円	▲19億円	9億円	▲24億円	28億円

資金収支

22年度 実績	23年度		前年度比	目標比
	目標	実績		
32億円	15億円	38億円	6億円	23億円

※ H23年度の資金収支の中には、旧市民病院売却収入31億円が含まれる

財務諸表の概要

※単位はすべて億円

【損益計算書】各事業年度における法人の経営成績を表示

	法人全体			中央			西		
	H22	H23	増減	H22	H23	増減	H22	H23	増減
収益総額	401	408	7	305	307	2	96	101	5
営業収益	391	396	5	300	300	0	91	96	5
営業外収益	7	9	2	5	7	2	2	2	0
臨時利益	3	3	0	0	0	0	3	3	0
費用総額	365	469	104	277	376	99	88	93	5
営業費用	350	377	27	266	289	23	84	88	4
営業外費用	15	19	4	11	15	4	4	4	0
臨時損失	0	73	73	0	72	72	0	1	1
当期純損失	36	▲61	▲97	28	▲69	▲97	8	8	0
(参考) 経常利益	33	9	▲24	28	3	▲25	5	6	1

※ 当期純損失が61億円生じたため、全て利益剰余金から取り崩した

【貸借対照表】事業年度末3月31日現在における法人の財政状態を表示

	H23.3	H24.3	増減		H23.3	H24.3	増減
資産の部	961	654	▲307	負債の部	830	584	▲246
固定資産※1	647	528	▲119	固定負債	533	523	▲10
流動資産※2	314	126	▲188	流動負債	297	61	▲236
				純資産の部	131	70	▲61
				資本金	53	53	0
				資本剰余金	12	12	0
				利益剰余金	66	5	▲61
資産合計	961	654	▲307	負債・純資産合計	961	654	▲307

※1 固定資産については、土地・建物等の除却により減少

※2 流動資産については、起債収入等の前受けにより、流動負債と両建てで減少

【キャッシュ・フロー計算書】各事業年度の現金・預金の増減を活動区分別に表示

	H22	H23	増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	46	15	▲31
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲88	▲201	▲113
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	207	▲13	▲220
IV 資金増加額	165	▲199	▲364
V 資金期首残高	79	244	165
VI 資金期末残高	244	45	▲199

※ 期首残高244億円は、新病院建設工事等に係る長期借入金等収入の前受け224億円を含む（実質残高20億円）

【行政サービス実施コスト計算書】納税者が実質的に負担しているコストを表示

	H22	H23	増減
I 業務費用	9	109	100
(1) 損益計算書上の費用	365	469	104
(2) (控除) 自己収入等	▲356	▲360	▲4
II 機会費用	1	1	0
III 行政サービス実施コスト	10	110	100

※ H23の「損益計算上の費用」の中には、旧中央市民病院等の除却損73億円が含まれる

※ 機会費用は、資本金・資本剰余金計65億円を法人が利用したことに伴う納税者から見た逸失利益を表す

主要指標

	中央市民病院			西市民病院		
	H22決	H23決	前期比	H22決	H23決	前期比
入院単価	72,646円	81,647円	9,001円	47,361円	49,103円	1,742円
外来単価	13,767円	14,709円	942円	10,143円	10,293円	150円
延入院患者数	278,668人	240,613人	▲38,055人	115,497人	119,692人	4,195人
延外来患者数	444,919人	440,859人	▲4,060人	247,557人	256,820人	9,263人
入院患者数/日	763人	657人	▲106人	316人	327人	11人
外来患者数/日	1,831人	1,822人	▲9人	1,019人	1,053人	34人
病床利用率(※)	93.0%	91.0%	▲2.0%	88.4%	91.3%	2.9%
新入院患者数	21,425人	19,733人	▲1,692人	8,543人	9,058人	515人
初診外来患者数	78,503人	80,579人	2,076人	27,658人	27,371人	▲287人
平均在院日数	13.0日	12.2日	▲0.8日	13.5日	13.2日	▲0.3日
手術件数	10,492件	10,389件	▲103件	3,581件	3,561件	▲20件
紹介率	50.2%	52.5%	2.3%	—	40.7%	—
逆紹介率	76.4%	79.8%	3.4%	—	47.8%	—
経常収支比率	110.6%	101.2%	▲9.4%	104.6%	105.9%	1.3%
医業収支比率	103.5%	94.4%	▲9.1%	97.9%	99.6%	1.7%
給与費比率	45.2%	45.3%	0.1%	52.9%	52.6%	▲0.3%
材料費比率	30.9%	31.6%	0.7%	23.7%	23.2%	▲0.5%
経費比率	16.3%	20.1%	3.8%	18.2%	17.3%	▲0.9%

(※) 届出病床数に基づく